

☆自主防災隊からのお知らせ (自主防災隊)

“あなたの防災力=近所の防災力=小川の防災力”

◆「無事です」の旗はいつ出すのか？

小川自治会自主防災隊では**震度5強以上**を非常時とします
各家庭では人的被害のない場合
「無事です」の旗を出して下さい



又防災隊は次のような非常時体制を敷きます。

◇各支隊では支隊長、班長、活動隊員は可能な限り速やかに支隊に集合。

非常時体制を確立し、一時(いつとき)避難場所を開設。

安否確認、被害状況調査、消火活動、救出救護活動、その他必要な活動を行います。

◇自主防災隊本部は小川会館に災害対策本部を設置。支隊、行政機関などとの連絡・対応を行います。避難場所(学校)へも必要な人材の派遣を行います。

震度5強では次の様な現象が起きます

人間	<ul style="list-style-type: none"> ☆非常に恐怖を感じる ☆多くの人が行動に支障を感じる
屋内の状況	<ul style="list-style-type: none"> ☆棚の食器、本が落ちる ☆テレビが台から落ち、散る ☆箆筒などの重い家具が倒れることがある ☆一部の戸が外れる
屋外の状況	<ul style="list-style-type: none"> ☆補強されていないブロック塀の多くが倒れる ☆据え付けが不十分な自動販売機が倒れる事がある ☆多くの墓標が倒れる ☆自転車の運転が困難

震度6では次に様な被害が想定されます

多摩直下型地震の予想震度は震度6弱です

家	<ul style="list-style-type: none"> ☆家財の転倒 ☆家屋の半壊・全壊 ☆塀や樹木の倒壊 ☆火災の発生及び延焼
生活インフラ	<ul style="list-style-type: none"> ☆停電 ☆ガス管・水道管の破損とガス・水の噴出 ☆一部道路の通行不能 ☆車の走行制限 ☆食料品など生活必需品の品不足、配送不能
通信インフラ	<ul style="list-style-type: none"> ☆電話・携帯が不通 ☆テレビ・ラジオの視聴不能? ☆防災無線は? ☆町田市緊急地震速報メール・サービス

季節、曜日、時間帯、気象条件、地質条件で被害は異なり、対策・対応は大きく異なる

◆近助の重要性

1. 初期消火：震災直後に火災が発生した時、数分以内に消火をする事が重要で、出火後数分を超えると避難が必要と指摘されています。初期消火には消防署などによる消火活動（公助）はもちろん、自主防災隊による活動（共助）も間に合わない可能性が高く、まずは自分で消す（最優先）、次に大声で「火事だ」とご近所で知らせあって消す（近助）が延焼を防ぐために非常に重要です。
2. 救出救助：阪神淡路大震災の時、崩れた家の下から救出された人は、77%が近隣の方の活動で、公（主として消防）はわずか22%でした。
しかも消防は大規模火災の発生を防ぐため繁華街、住宅密集地の消火を最優先で活動します。（場合によっては救急隊員も消火にまわすこともあります。）

ご近所の助け合いで大切な命と財産を守りましょう。

近 助 と は

隣近所でお互いに助け合う活動で系統・組織だったものではなく

ちょっとお助けする程度の感覚でお互いに迷惑にならない範囲で行う

例えば

- ・ちょっと声をかけてお互いに安否確認を行う
- ・初期消火で消火器を貸す。あるいは一緒に消火活動をする
- ・非常食や飲料水を融通しあう
- ・一緒に炊き出しをする
- ・お風呂やトイレなどが使用不能な時お貸しする
- ・軽いけがで救急箱をお貸しする
- ・場合によっては避難所ではなく可能なご近所に避難する など

非常時急に助け合うのは難しい。普段からのお付き合いで環境作りが大切
まずはご近所と日常の挨拶を交わすことから始めましょう。

◆自助のお手伝い

自助は重要です。しかし

- ・非常食は1週間分持ちましょう
- ・消火器は最低2本備えましょう
- ・耐震補強は済みましたか などとただ言われてもなかなか備えは進みません。

そこで自主防災隊では自助の備えのお手伝い（支援）を重点的に行います。

第1弾として家庭用消火器の購入斡旋を行っています。一部支隊では終わりました。

他にも次のような支援を徐々に実施していくよう検討しています。

皆さまからこんなこともぜひ実施してほしいと言うご要望がありましたら、所属の支隊の支隊長まで気軽に連絡ください。

- ・非常食（乾パン、アルファ化米）、飲料水購入斡旋
- ・火煙探知機購入斡旋
- ・耐震診断
- ・その他

◆自主防災隊の機材・備品

本格的な自主防災隊活動開始で本年度は次のような機材・備品を購入しました。

消火機材：スタンドパイプ（1セット）、支隊用消火器

街頭消火器増設（町田市 5か所→24か所）

避難誘導：安全確認の旗「無事です」、ハンドマイク。誘導用プラカード

活動用機材：ヘルメット、腕章、防災倉庫（かえで）

資料等：防災ガイドブック

さらにスタンドパイプの追加（各支隊）、救出用レスキューセット、トランシーバー
ハンディ夜間照明設備などの購入を検討しています。

すでに保有している担架、車いす、リヤカー、テント付簡易トイレなどと合わせ
ご家庭では持てない機材を中心に、いざという時の備えの充実を図って行きます。

◆救出救護活動の訓練実施

3月2日(日) 13時30分～15時、小川会館で約40名が参加して救出・救護専門の訓練を行いました。町田消防署南支所の5名の講師のもと、防災講座、窒息時の心肺蘇生法(AEDの使用を含む)、三角巾を使った応急手当法(止血方法など)、また自主防災隊が所有している救護用の車いす、リヤカー、救出用のレスキューセットやスタンドパイプの使用説明も行いました。寒い季節の建物内の訓練のため、メニューを絞り込みましたが、別途また訓練を行います。また今後、救出・救護以外にも、消火、避難などに特化した専門的な訓練も計画していきます。



◆防災で使われる用語(呼称)の統一

防災で使用される用語が多く、使われ方もまちまちで分かりにくいので次の様に統一しました。

<input type="checkbox"/> 会員	→ 隊員
<input type="checkbox"/> 一般隊員	→ 隊員
防災隊員/活動隊員	→ 活動隊員
<input type="checkbox"/> 公園支隊/支隊	→ 支隊
<input type="checkbox"/> 防災班/専門班/防災専門班	→ 防災班
<input type="checkbox"/> 班長/防災班長/専門班長/防災専門班長	→ 班長
<input type="checkbox"/> 支隊長	→ 代表支隊長 と 支隊長
<input type="checkbox"/> (自主防災隊本部) 隊員	→ 本部隊員
<input type="checkbox"/> 緊急時/非常時/災害時/災害発生時	→ 非常時
<input type="checkbox"/> 常時/通常時/日常時/平常時	→ 平常時
<input type="checkbox"/> 緊急対策本部/災害対策本部	→ 災害対策本部
<input type="checkbox"/> 啓蒙	→ 啓発
<input type="checkbox"/> 自主防災隊活動マニュアル/自主防災隊マニュアル	→ 自主防災隊活動マニュアル
<input type="checkbox"/> 年号(但市役所等公の組織へ提出する書類は除く)	→ 西暦 2014年 2014, 02, 16

◆昨年4月に本格活動を開始した“小川自治会 自主防災隊”は皆様と一緒に非常時に備えて種々の活動を行ってきました。この活動を通して得られた情報、重要な外部情報、今後の活動計画などを今後「自治会だより」などを通じ適時お知らせします。

支隊で発行しています広報誌と併せてお読み、ご利用下さい。

☆組織の変更 (総務部)

第9支部9班は会員が3世帯となり独立した班としての活動が困難になりましたので平成26年度より第9支部4班に統合します。

小川自治会の組織は11支部、65班となります。

☆会員情報 (総務部) (2月28日現在会員数: 1, 215)

△入会	藤田 成由 様	第10支部	6班	1月
	山本 弘太 様	第10支部	6班	1月
▼退会	大津 栄子 様	第3支部	3班	2月

訃報

梅沢 昌太郎 様

謹んでご冥福をお祈りいたします

(享年76歳) 小川1-15-8

12月ご逝去

中川 彰治 様 (享年 歳) 小川 1 - 1 9 - 1 5

1 月ご逝去